

2025 年 10 月 3 日

報道機関 各位

## 記者会見

- (1) 朝長万左男 長崎大学客員教授による核戦争の影響に関する  
国連独立科学パネル第 1 回会議報告
- (2) 戦後 80 年事業:RECNA と米国科学者連盟 (FAS) の政策提言

核戦争の影響を研究する国連の独立科学パネルは、2025 年 9 月 4 (木) ～5 日 (金) にニューヨーク国連本部で第 1 回会合を開催しました。同会合において、本学の朝長万左男客員教授が共同副議長に就任しました。また、このパネルの最終報告作成に貢献していくことを目的に、核兵器廃絶研究センター (RECNA) は長崎大学原爆後障害医療研究所、ソウル大学等と共同で国際ワークショップを 9 月 16 (火) ～17 日 (水) に開催しました。第 1 回会合とワークショップの概要について、朝長客員教授も加わった記者会見を下記のとおり実施いたします。

また、戦後 80 年事業として RECNA が米国科学者連盟 (FAS) と進めてきた政策提言 “Avoiding Nuclear Danger in Northeast Asia” が完成しましたので、日本語版も合わせて同じ記者会見で説明いたします。

オンライン参加をご希望の方は、Zoom リンクをお送りいたしますので、下記問い合わせ先までメールにてお申込みください (申込期限 : 10 月 8 日 (水) 17 : 00)。

## 記

- 日 時 : 2025 年 10 月 9 日 (木) 10 : 30～11 : 30
- 開催場所 : 長崎大学 RECNA1 階会議室 及び Zoom によるオンライン配信
- 報 告 者 : 朝長万左男 長崎大学 客員教授  
吉田文彦 核兵器廃絶研究センター センター長・教授  
河合公明 核兵器廃絶研究センター 副センター長・教授 (司会)

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

核兵器廃絶研究センター総務係 TEL 095-819-2164/ FAX 095-819-2165  
E-mail [recna\\_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp)